

# 人間学会 ニュースレター

上智人間学会  
2013年3月10日発行

1. 第41回大会のご案内
2. 研究発表・紀要原稿の募集について
3. ホームページのご案内
4. 第40回大会報告記
5. 図書紹介
6. 役員会・事務局からのお知らせ

## 1. 第41回大会のご案内

次回大会につきまして、役員会で協議しました結果、下記の要領で開催することに決定しましたので、ご案内申し上げます。

期日：2013年8月28日（水）・29日（木）

場所：登別万世閣（北海道・登別温泉）

テーマ：人間教育 — その原点と可能性

1973年に始まった人間学会40年の歩みは、「人間存在」への学問的な関心のみならず、同時にいつも「人間教育」への「思い」を共有し、その可能性を模索する営みであり続けてきました。しかしこの間、教育の現場においては、一人一人を大切に、時間をかけてその人格を育む余裕は日に日に失われ、教えるものも学ぶものも、それぞれの「思い」を結び合うことが一層難しくなっているように思われます。

またカトリック教育においても、人間を育む場としての宗教教育の担い手の減少の中、いかにしてその使命を引き継いで行くべきかが問われ続けています。

こうした状況にあって、私たちはキリスト教ヒューマニズムの「原点」に立ち戻り、今いちど「人間教育」の可能性を見つめ直すべきではないでしょうか。学校、家庭、社会、さらには制度や思想といった様々な側面から考えてまいりたいと思います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 2. 研究発表・紀要原稿の募集について

### ☆第41回大会研究発表の募集

上記の大会テーマを共通課題として、研究発表を募集いたします。(質疑をのぞき25分程度)  
なお、研究発表は他に発表したことのないもので、人間学に関係した内容に限ります。

### ☆『人間学紀要』第43号論文の募集

2013年度紀要(2014年1月20日発行予定)の原稿を、下記の規定に基づき募集します。  
なお、編集委員会にて審査の上、

- 1) 応募状況をもとに「原稿受理の可否」を決定します。(5月末に本人に通知予定)
- 2) 受理した原稿を審査の上、「掲載の可否」を決定します。

#### 【投稿規定】

- ・本学会会員に限る。
- ・他に発表したことのないもので、人間学と関わりのある新原稿であること。
- ・枚数は、論文は400字詰原稿用紙で40枚以内、研究ノートは同20枚以内(いずれも脚注を含む)相当とする。
- ・原稿は原則としてワープロ作成(A4版・40字×30行)とし、原稿提出の際、機種、執筆者を明記のCD-ROMまたはフロッピーディスク等も同封すること。
- ・図表等は必要最小限とし、そのまま印刷可能な状態のものを用意すること。
- ・原稿は所定の期日までに「上智人間学会事務局」宛に3部郵送すること。
- ・原稿には日本語表記に加えて、英文のタイトルおよび執筆者氏名を標記すること。
- ・原稿冒頭に掲載するため、400字以内の要約を添付すること。

### ☆応募要領

#### 【応募締切】

大会研究発表、紀要論文ともに、所定の申込用紙に記入の上、  
2013年4月30日(火)必着で事務局へお送りください。

#### 【応募に対する回答通知】

発表、紀要とも、応募状況をもとに、2013年5月末に応募に対する回答通知を文書で本人宛に送付します。

#### 【原稿締切】

大会研究発表の発表概要の提出期限は2013年8月12日(月)

A4版で3~5枚、原則としてワープロ作成

紀要論文の原稿の提出期限は2013年10月1日(火)

#### 【送付・連絡先】

「上智人間学会事務局」 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 7号館1219号室  
上智大学神学部(キリスト教人間学)事務室内

TEL 03-3238-3529 FAX 03-3238-3945 E-mail:theolo-2@sophia.ac.jp

### 3. ホームページのご案内

本学会のホームページを、3月より開設いたしました。アドレスは以下の通りです。

<http://ningen-gakkai.org>

コンテンツは最新のお知らせ、学会の沿革、活動紹介、会則などの基本情報を中心に、今後は学会に関する資料や、会員によるコラムなども掲載して参りたいと思います。使用している写真は、上智大学哲学科の卒業生の写真家、高橋蒼さんに提供していただきました。透明感溢れる世界をお楽しみ下さい。

制作にあたっては、会員の吉田幸司氏（上智大学）に協力いただきました。

内容に関するご意見などありましたら、参考にさせていただきたいと思いますので、事務局までお寄せ下さい。

（なお一部ブラウザによっては、写真がすぐに読み込めない場合がありますが、その際はページを再読み込みしていただくと、表示されます。）

### 4. 第40回大会報告記

去る2012年8月31日、9月1日の両日、40回目の人間学会大会が、白百合女子大学にて開催され、大会テーマ「〈語り〉の人間学」のもと、多彩な発表と活発な討議が行われました。

基調講演は会員の水野治太郎先生に「愛のナラティブ実践」と題してお話いただきました。大震災以後、ケアの現場ではあらためて「語り」や「傾聴」の重みが問われていますが、永年ケアの実践を続けて来られた先生のお話は、まさにその「重み」が参加者ひとりひとりの心に確かに残るようなかたちで、「ナラティブ・アプローチ」の意義を伝えて下さるものでした。豊富な実例を含めて、さらに浩瀚なご論文のかたちで『紀要』にその内容を掲載させていただきましたので、味読いただければと思います。

今回は発表希望者が多かったためシンポジウムは行わず、その代替わりできるだけ関連する発表を集めるかたちで、三つのセッションを行いました。31日には基調講演に続き、様々な「苦悩」「悲嘆」に向きあう語りや活動のあり方をめぐって（澤田愛子氏、寺尾寿芳氏、久保文彦氏）、1日の午前中には、神学や哲学的人間学などの視点から（島村絵里子氏、伊藤春樹氏、鈴木伸国氏）、1日午後にはキリスト教と「言葉」をめぐって（桑原光一郎氏、兼子盾夫氏、佐々木隆氏）それぞれに密度の濃い発表と熱心な質疑が続きました。

東京での大会が四ッ谷以外で開催されるのは初めてでしたが、若い世代も含めて多くの参加者にお集りいただきました。「四十にして惑わず」と申しますが、時代の大きな変化の中でも、私たちの「人間学」は迷うことなく、これまで引き継がれて来た「思い」をさらに耕し、語り伝えていかねばならないと、心強く感じた二日間でした。開催校である白百合女子大学の関係者の方々にも、あらためて心より感謝申し上げます。

（記：崎川）

## 5. 図書紹介

### ☆『悲しみを生きる力に — 被害者遺族からあなたへ』 入江 杏 著

「グリーフケア」への関心の高まっている昨今ですが、悲嘆のうちにある方々の置かれた状況は様々であり、容易に言葉になしえないような重く複雑な苦悩に寄り添い支えていくことも、また大変に難しいものです。本書は2000年12月に起きた「世田谷事件」の被害者遺族の立場から、深くまた複雑な苦悩の中に、いかにして人は「生きる意味」を再発見し、歩みだすことができるのかを問う一冊です。著者の入江さんは悲しみと向き合う中で、絵本や物語の持つ力に支えられ、創作や読み聞かせを通じて「かかわり」の中で「生きる力」を取り戻してこられました。人生の物語と、童話や文学作品の言葉が会う場所で、静かに希望が紡ぎだされてきた「時間」の重みが静かな筆致で丁寧に語られています。

「悲しみを生きる」ことへの理解を深め、またそうした人と共に歩むために何が必要かを考えさせられるのはもちろんのこと、「人間」とは何か、いかに生きるべきか、という根本の問いに向き合うヒントのちりばめられた、まさに「人間学」の書ではないでしょうか。ジュニア向けのシリーズですが、「大人」にも読み応えのある好著として広くおすすめいたします。

(著者の入江さんはデーケン先生や長島正先生の講座で学ばれ、近年はグリーフケア講座や全学共通科目など、上智の教壇でもたびたびお話をいただいています。)

(岩波ジュニア新書 定価：840円)

## 6. 役員会・事務局からのお知らせ

☆大変遅くなりましたが、久々の学会員名簿を作成いたしましたので、ご活用下さい。なお名簿情報の取り扱いにつきましては、くれぐれもご配慮いただきますようお願い申し上げます。

☆次回大会は待望の(?)温泉地での開催となります。日程も会員の皆様のご意見を参考に、8月下旬の平日へと変更いたしました。ご都合の合わなくなる方も居られるかとは存じますが、どうかご了承下さい。基調講演につきましては現在調整中です。

☆退会者 (2012年度内)

大草 一治 伊井 雅美 梶田 絢子 泉 滋三郎 福田 誠二 有村 浩一

(2012年度入会者のお名前は『紀要』第42号に掲載しております。)

☆ご逝去

アンセルモ・マタイス (上智大学名誉教授) 2012. 5. 1 ご逝去

### 上智人間学会 役員会／事務局

会 長	瀬本正之	事務局 (担当：田代奈津子)
幹 事	高山貞美 崎川 修	〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
会 計	武田なほみ 丹木博一	上智大学神学部 (キリスト教人間学) 事務室内
紀要編集	中村友太郎 崎川 修	TEL 03-3238-3529 FAX 03-3238-3945
会計監査	長島世津子 堀井泰明	E-mail:theolo-2@sophia.ac.jp